

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 05 06	中期総合計画主要施策番号		3-13	担当課	部・課	衛生部 食品・生活衛生課	
事業名		公衆浴場確保対策事業					内線	2654	
							E-mail	shokusei@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上に資する公衆浴場の経営の安定化を図り、住民の利用機会を確保する。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 公衆浴場は、公衆衛生の向上等において欠くことのできない施設であるが、利用者の減少や経費の増大、後継者不足などの切実な問題を抱えている。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 自家風呂設置率の向上により利用者が減少する中、収益の悪化、後継者不足などに対する対応が行われていない。							
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 公衆浴場の健全な経営を支援し、公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上を図る。							
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹設備の改善に対する補助 ・ 経営安定化の促進に対する補助 							
実施期間	S 48 ~	根拠法令等	公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律						
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上に資する公衆浴場の経営の安定化を図り、住民の利用機会を確保する。		基幹設備の改善及び経営の安定化に対する補助を行い、公衆浴場の健全な経営を支援する。			基幹設備の改善要望の全てに対して補助するとともに、経営基盤が脆弱な営業者に対する助成等を行った。 設備改善事業 24 件、4,040,500 円 経営安定化助成事業 36 件、5,705,000 円 運営資金貸付金 4 件、5,500,000 円		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	29,289	17,750	15,498	国庫・県単	県単	
	決 算 額 (B)		千円	25,109	15,246		実施方法	補助、貸付	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	14,109	9,746	11,998	歳出節別内訳等	補助金：9,746 貸付金：5,500 (単位：千円)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	8.00	8.00	8.00			
	概算人件費 (C)		千円	57,120	57,192	57,192			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	82,229	72,438	72,690				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	設備改善事業補助金		千円	8,257	4,041	5,278			
	経営安定化助成事業補助金		千円	5,852	5,705	6,470			
	運営資金貸付金		千円	11,000	5,500	3,500			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・ 経営状況の悪化や後継者の不在などにより施設数が減少する一方、施設の老朽化が進んでいる。 ・ 現に浴室を持たない住宅が存在している状況から、公衆衛生の向上・増進に資する公衆浴場の確保は必要。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
課題の総括		公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上を図るため、引き続き、公衆浴場の健全な経営を支援する。							